

クスリと仲良く安全に♪ ～不安を安心に、曇り顔を晴れやかに～



福島県

救護施設 郡山せいわ園

サークル名 : せいわガンバローズ

発表者 : 大越 顕来

アシスタント : 菅野 陽子



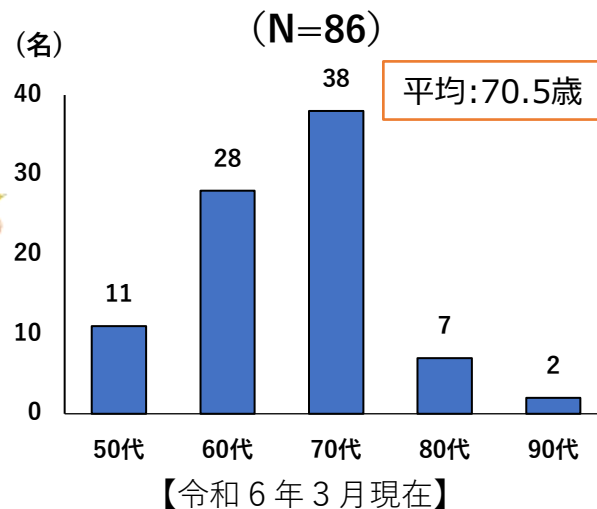
※写真掲載については利用者の方から了承をいただいています

1、施設紹介

2



せいわ園利用者年齢別グラフ



モットー

地域の中で地域とともに
自分らしくいきいきと

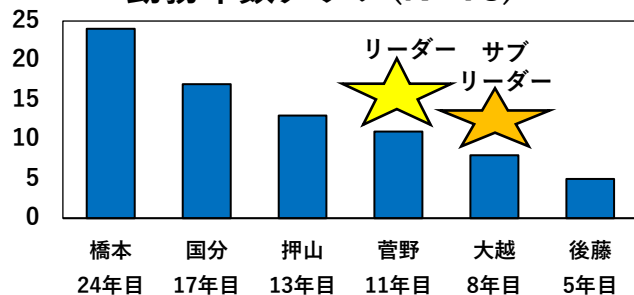
生活保護法に基づく施設で、経済的に問題を抱え、身体や精神に障害があつて日常生活をおくることが困難な方たちが、健康で安心して生活していただくための入所施設です。

*また、緊急を要する短期入所(家族等からのDVや虐待)等、セーフティネットとしての役割も担っています。

2、サークル紹介

サークルメンバー

勤務年数グラフ(N=78)



構成人員

平均年齢

会合状況

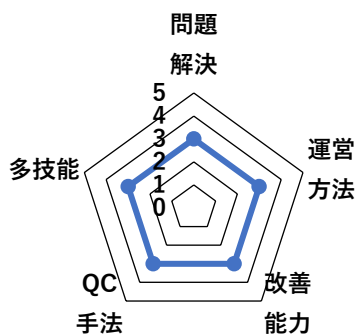
男性：1名
女性：5名
計6名

37歳

回数：3回/月
時間：1h/回

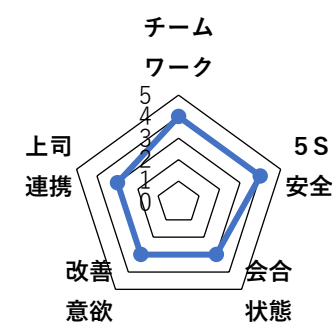
サークル能力(X軸)

平均値(3.0)

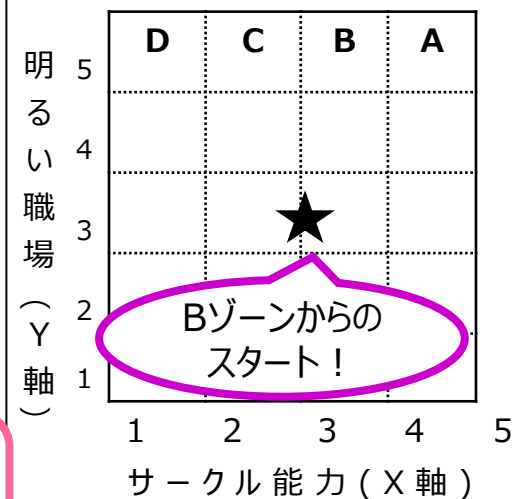


明るい職場(Y軸)

平均値(3.4)



サークルレベル



せいわガンバローズのチームモットーは
「チームワークの向上」!!
みんなで力を合わせて頑張るぞ!!

3、テーマの選定

△ = 1点、○ = 2点、◎ = 3点

評価項目 取り上げた問題	施設方針	重要度	可能性	期待効果	活動計画	緊急度	総合点	順位
頓服薬対応・軟膏塗布対応時に困ることが多い	◎	◎	◎	◎	○	◎	486	1
口腔ケアの支援を十分に行えていない	◎	◎	◎	◎	○	○	324	2
利用者の方の体力が低下している	◎	○	◎	○	○	○	144	3

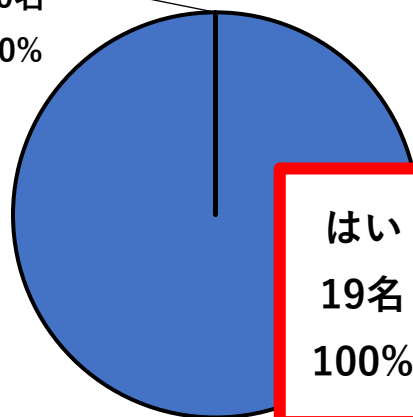
3、テーマの選定理由

【職員アンケートより】

薬に関する業務で
困った経験はありますか？

いいえ (N=19)

0名
0%



調査日：令和6年3月20日

最近、利用者の方の
希望時の服薬対応が多いのですが、
保管庫からお薬を探すのに
時間がかかってしまうんです…



私は利用者の方の入浴後に
軟膏を塗布する際に
誰がどの軟膏を使用しているのか
迷ってしまったことがありました

看護師に確認したり記録を遡ったりして
確実な薬の対応を行なっていますが、
今よりさらに確実でスムーズな対応が
できるようにしたいですね！



利用者の方に安心した生活を送っていただけるように
職員自身も安心安全にお薬の対応を行なうことが
とても大事ですね…！！

薬の管理を「分かりやすく」することで
職員の「困った」を減らし

**利用者の方の「安心」に
つなげよう！！**



作成日：令和6年3月20日 作成者：菅野

4、施設長コメント



1、活動が与えた施設への効果

医師からの処方等によるお薬の正しい使用は、利用者の皆さんの元気で健康なご生活にとって、大切なことの一つです。今回の活動を通し、頓服薬や軟膏の管理について仕組化できたこと、また利用者の皆さんや職員が薬に対する正しい知識等を再確認する機会ができたことでお薬の使用についての安心感・安全性が更に高まったと感じています。利用者の皆さんの健康なご生活に関わる、大変重要なテーマに取り組み、成果を上げました。

2、実践者（サークル）に一言

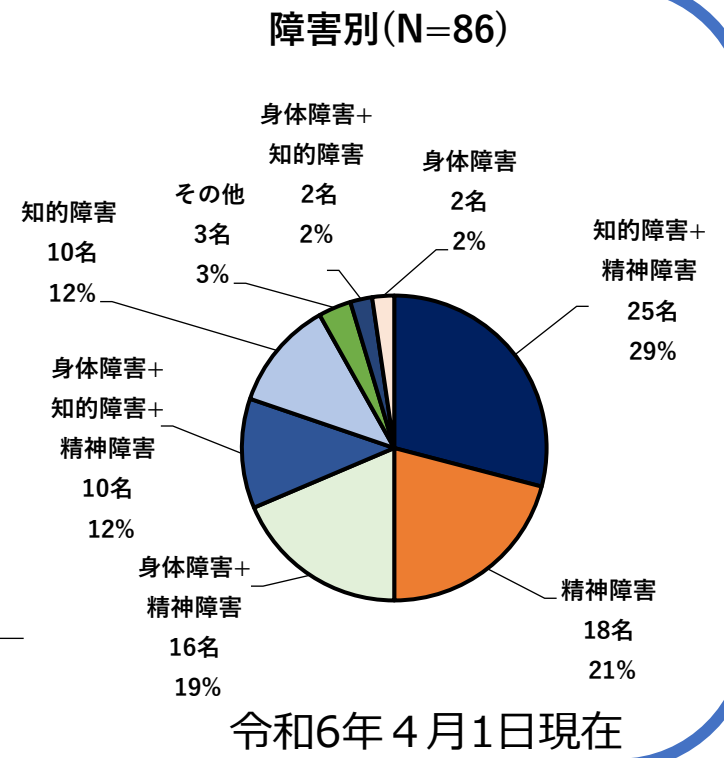
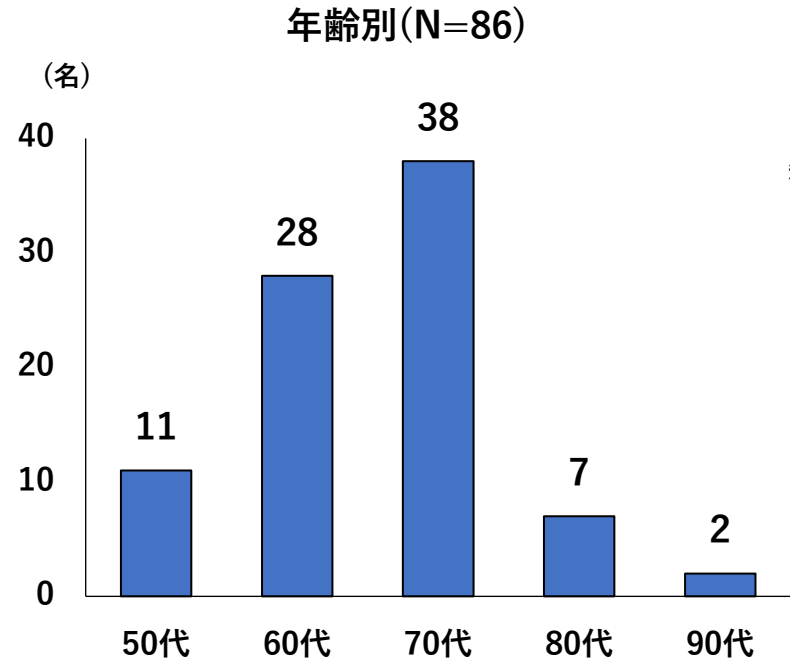
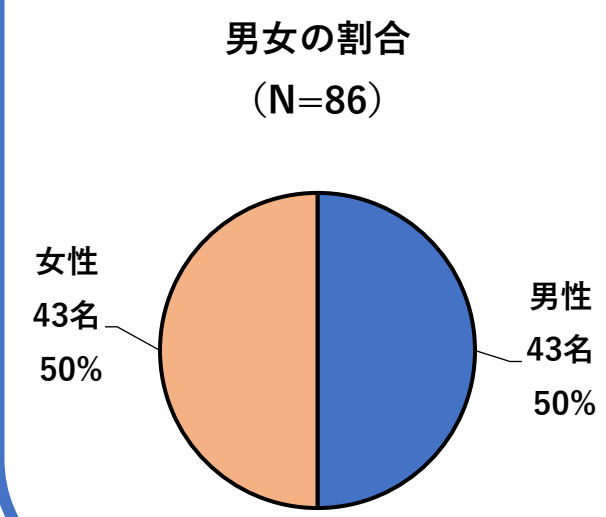
“継続は力なり”です。今後も初心を忘れずにカイゼン活動に取り組み、利用者の皆さんや地域の皆さんに信頼をいただける施設づくりに努めていきましょう。大変お疲れ様でした。

5、活動計画

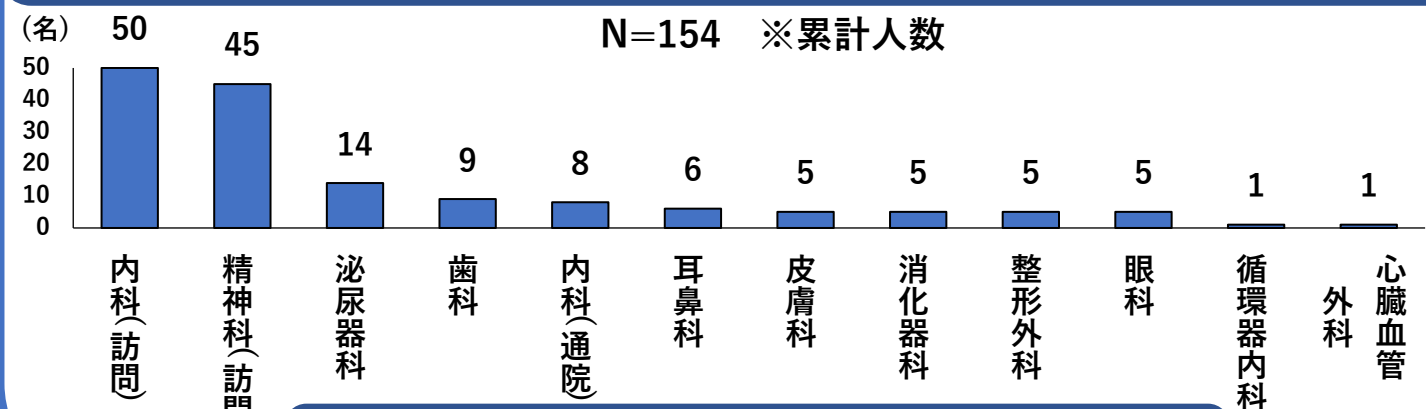
何を	誰が	いつまでに（上段→計画、下段→実績）				
		3月	4月	5月	6月	7月
1、テーマ選定	菅野	--> 15日 → 20日				
2、現状把握	大越		---> 15日 → 30日			
3、目標の設定	国分		--> 20日 → 30日			
4、要因解析	押山		-----> 10日 → 15日			
5、対策の立案	橋本			--> 20日 → 25日		
6、対策の実施	後藤			--> 30日 → 10日		
7、効果の確認	菅野				-----> 30日 → 10日	
8、歯止め	大越					---> 17日 → 22日
9、まとめ	国分					-----> 31日 → 31日

6、現状把握1 せいわ園利用者の方の状況について整理

【現状把握1-1】
せいわ園に入所している方



【現状把握1-2】
利用者の方が受けている診療科目と人数
調査期間：令和6年4月1日～4月30日



内科と精神科については嘱託医の訪問診療があります
内科：月1回 精神科：週1回

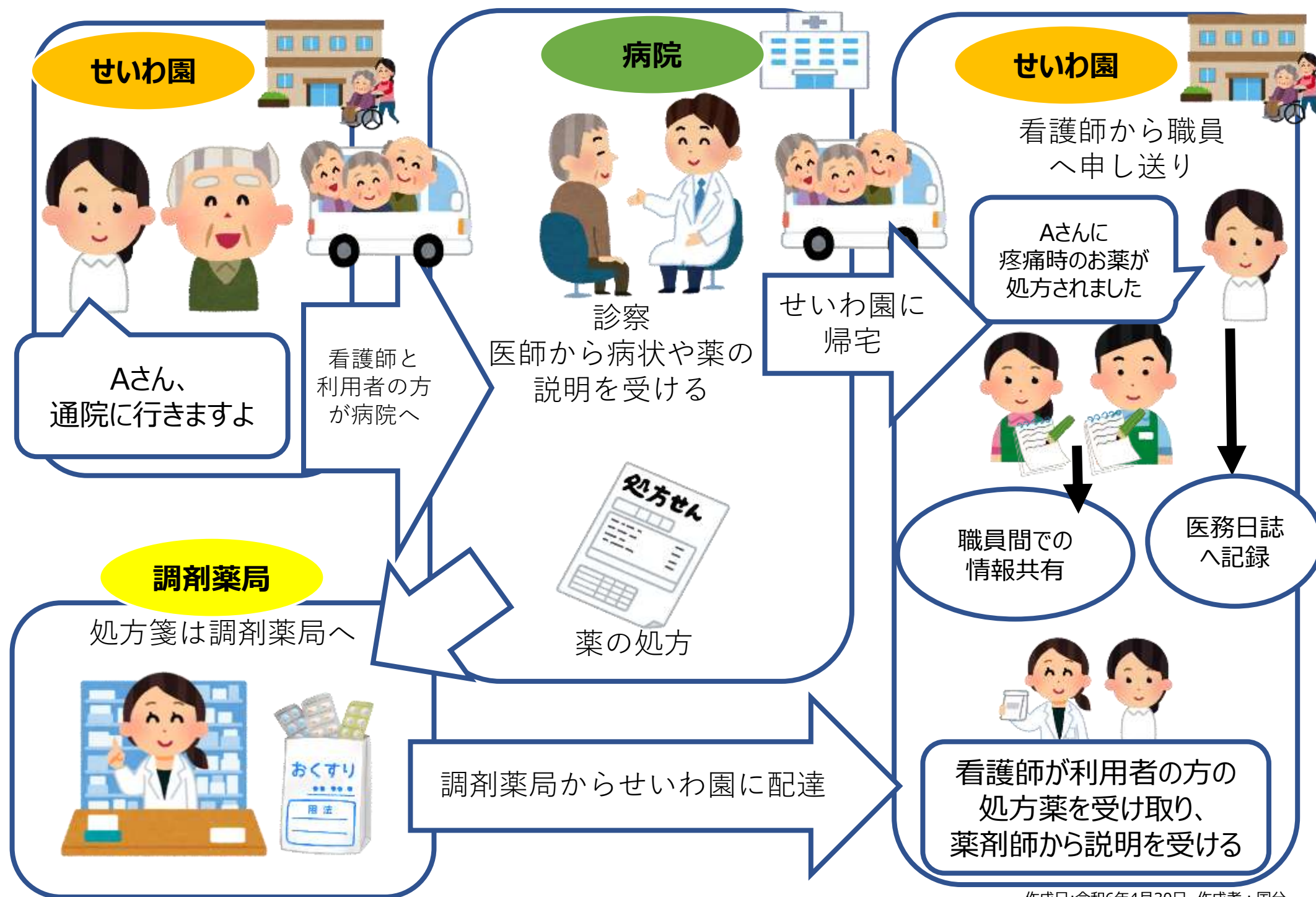
様々な利用者の方が
入所されており
利用者の方一人ひとりの症状
に合った診療科を受診し
薬が処方されています！

処方された薬には
内服薬・外用薬があり
使用する時間は
食前食後・就寝前などの定時、
症状が出た際の頓用時が
あります！

現状把握2 利用者の方の通院状況について整理

6

利用者の方の通院の手順について整理しました。



現状把握3 看護師と職員の業務について整理

【現状把握3-1】薬に関する業務を行なう職員について整理しました。

看護師(3名)

- 利用者の方の日々の健康管理
 - バイタルチェック
 - 利用者の方への定時、希望時の配薬
 - 利用者の方のケガや急変時対応
 - 利用者の方への服薬指導
 - 医薬品の管理
 - 利用者の方の通院付添い
 - 病院、医師との連携
 - 施設内感染症予防
 - 医務日誌※への記録
- ※医務日誌とは…
利用者の方の通院や入退院時の状況、
医師からの説明などを記録するもの

職員(19名)

- 利用者の方への医療的ケア
 - 1.バイタルチェック
 - 2.軽い切り傷や擦り傷などの処置
 - 3.医薬品を使用した以下の介助
 - ※看護師の指導のもと実施
 - ・一包化された内服薬の服薬介助
 - ・軟膏塗布 ・湿布の貼付
 - ・目薬の点眼 ・肛門からの座薬挿入
 - ・鼻腔粘膜への薬剤噴霧
- 医薬品管理の補助
(本館ステーション、別館ステーション)
- 職員間での情報共有

指導
指示

協働・連携



看護師は医療面において職員に対し指導・指示を行なう立場ですが
利用者の方の支援においては双方の協働・連携が大事ですね！

【現状把握3-2】看護師の出勤状況について整理しました。

出勤状況	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時
看護師							出勤6:30											退勤17:15							
早番							出勤6:30											退勤15:15							
日替							出勤8:30											退勤17:15							
中番							出勤9:45											退勤18:30							
遅番							出勤11:15											退勤20:00							
夜勤							出勤9:30										出勤16:30								

看護師の不在時にも職員が
確実な対応をできるように
連携を図っています！

	月	火	水	木	金	土	日	祝
看護師	日勤	日勤	日勤	日勤	日勤	休	休	休

作成日:令和6年4月30日 作成者:国分

【現状把握3-3】薬に関する業務の内容について整理しました。

薬に関する業務は主に「管理」と「支援」があります！

管理

看護師が責任者となり間違いのないように
各保管場所で管理しています！

※職員が常駐し保管庫の施錠ができることを条件とする

医務室

看護師が常駐し
医薬品の管理を
行なっています



本館 ステーション

本館に居室がある
利用者の方が使用する
医薬品を保管しています



別館 ステーション

別館に居室がある
利用者の方が使用する
医薬品を保管しています



医務室以外にも
保管場所が
あるのはなぜ？

看護師の不在時にも職員が利用者の方へ
薬のお渡しや軟膏塗布、処置等ができるように
必要最低限の医薬品を保管しています

支援

看護師の指導のもと、職員も支援を行なっています！

食前食後、
就寝前など定時
での配薬



頓服薬・臨時薬
のお渡し(※)



※臨時薬と頓服薬の違い
・臨時薬はかぜ薬や湿布薬、
塗り薬など医師から処方された
薬で、使用期間が比較的
短期間のもの
・頓服薬は、頭痛時や不眠時
等症状に応じて服用するもの

点眼支援



入浴後や
就寝前の
軟膏塗布



鼻腔粘膜への
薬剤噴霧



湿布や
絆創膏などの
貼付

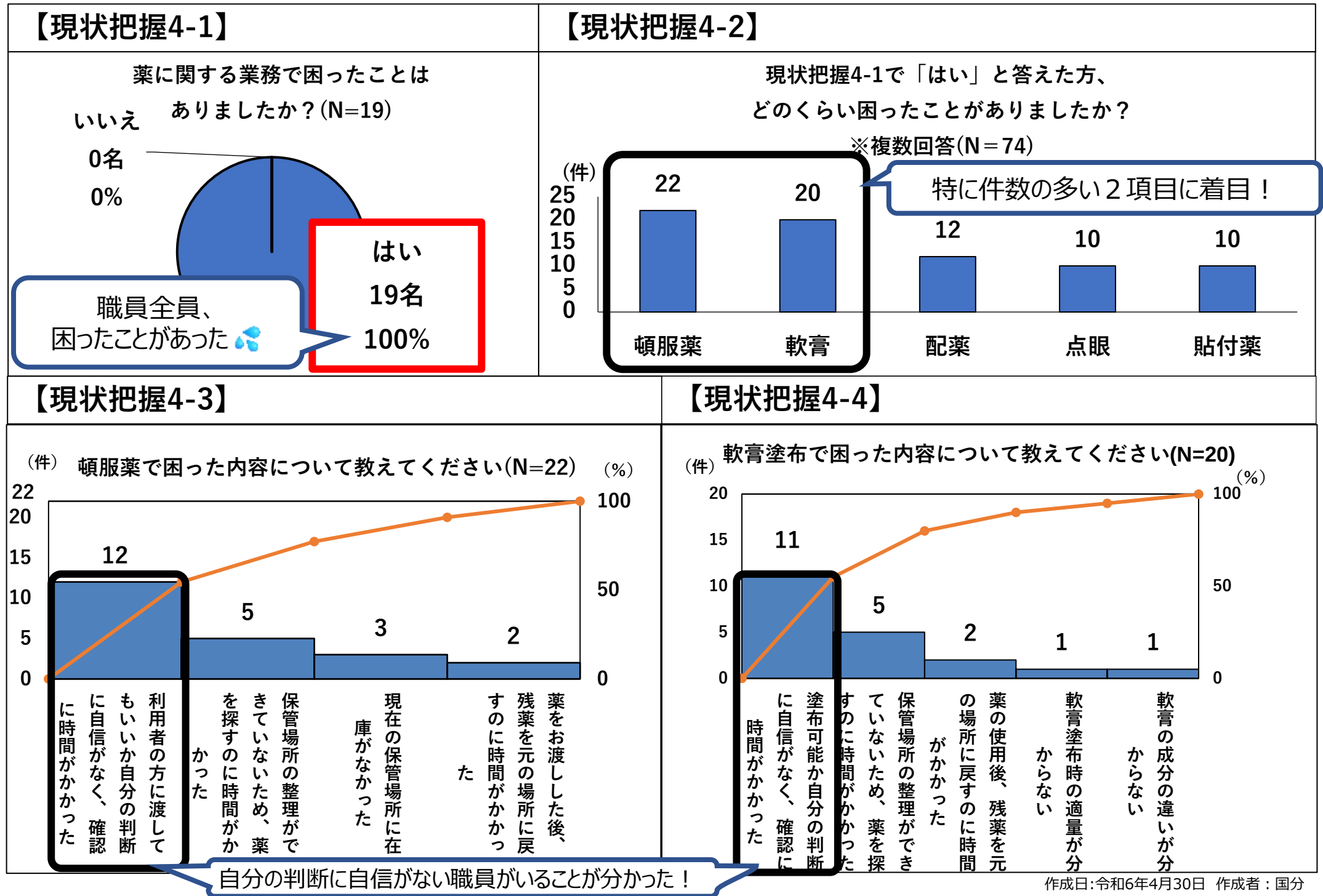


座薬の挿入



薬に関する業務は利用者の方の健康にかかわるのでとても重要！
看護師・職員ともに緊張感をもって行なっています！
だからこそ、不安ってないのかな？

調査日：令和6年4月10日



【現状把握5-1】利用者の方の薬の処方内容の変更があった件数を調査しました。

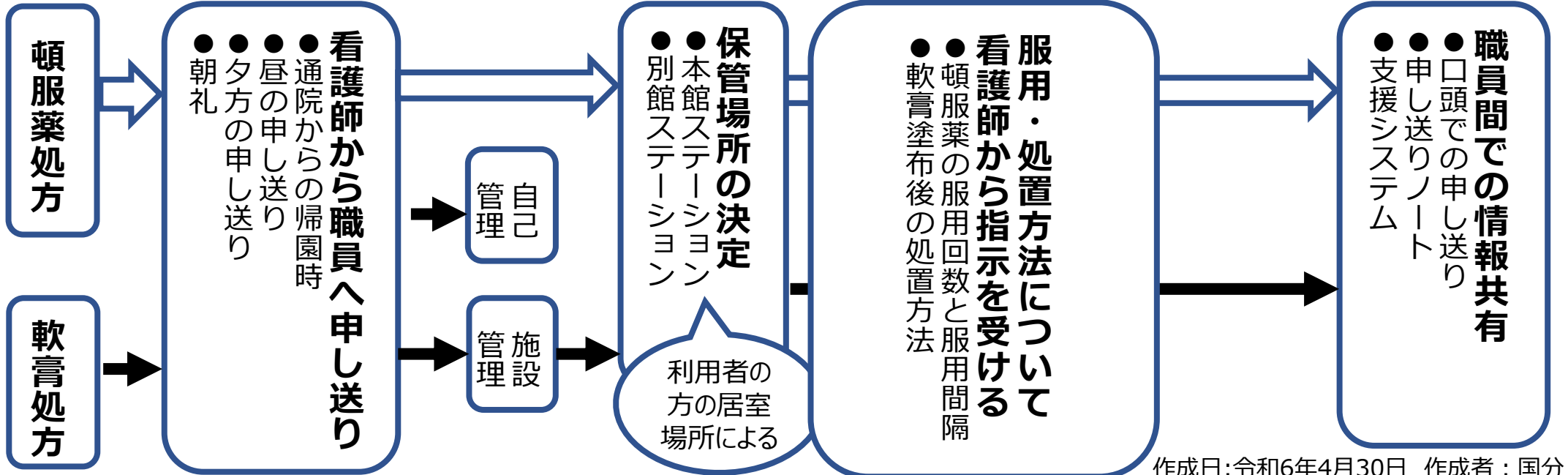
		1日(月)	2日(火)	3日(水)	4日(木)	5日(金)	6日(土)	7日(日)	8日(月)	9日(火)	10日(水)	11日(木)	12日(金)	13日(土)	14日(日)	15日(月)	
受診者数 (名)	通院	2	4	4	3	0	0	0	2	3	4	3	0	0	0	3	
	訪問	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	64	0	0	0	
薬の変更 (件)	定期受診	0	0	0	1	4	0	0	1	1	3	1	3	0	0	1	
	症状時	4	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2	2	0	0	1	
		16日(火)	17日(水)	18日(木)	19日(金)	20日(土)	21日(日)	22日(月)	23日(火)	24日(水)	25日(木)	26日(金)	27日(土)	28日(日)	29日(月)	30日(火)	全体合計
受診者数 (名)	通院	3	1	4	0	0	0	3	7	3	2	3	0	0	0	5	59
	訪問	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	95
薬の変更 (件)	定期受診	0	0	1	0	0	0	2	0	2	0	4	0	0	0	1	25
	症状時	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	20

調査期間：令和6年4月1日～4月30日



変更があった日数は17日であり、**1.8日に1回**は薬の変更があることが分かりました！
細かく丁寧に診ていただく分変更が多くなるため、申し送りと情報共有は最重要事項です！！
薬の処方内容が変更になった際の申し送りの手順について整理してみましょう！

【現状把握5-2】利用者の方の薬の処方内容が変更になった際の申し送りの手順について整理しました。

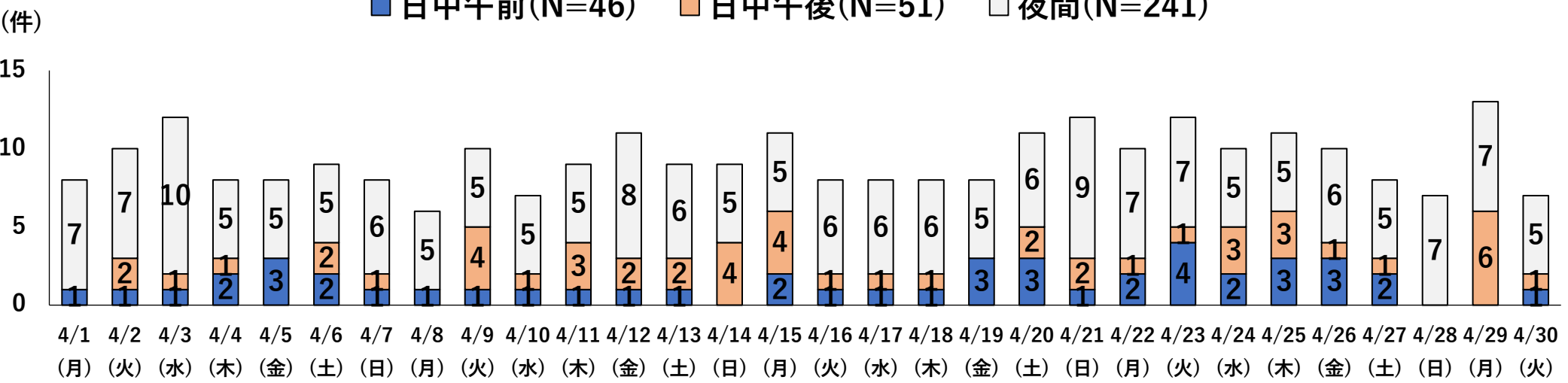


【現状把握6-1】

利用者の方への頓服薬のお渡しや軟膏塗布などの対応件数を調査しました。(N=338)

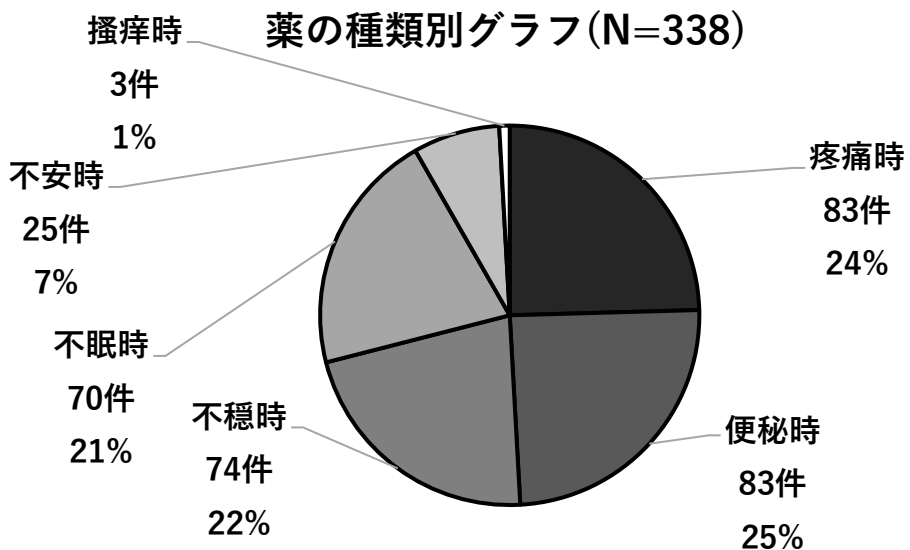
調査期間：令和6年4月1日～4月30日

■ 日中午前(N=46) ■ 日中午後(N=51) □ 夜間(N=241)



【現状把握6-2】

現状把握6-1から、対応した際の薬の種類別グラフ(N=338)



対応件数は**1日平均11.2件**！
薬も**6種類**と様々でした！
また、対応した時間は
夜間が241件と最多であり、
7割を占めている事が分かりました！

看護師が不在の時間帯の
対応件数が多いからこそ、
確実にスムーズに
行わなければならないですね！



現状把握7 頓服薬と軟膏の保管状況について整理

【現状把握7-1】 頓服薬の保管状況について調査しました。

本館ST保管の頓服薬

袋の中身が見えない

異なる種類の薬が
同じ場所にある

袋がかさばっていて
探しにくい

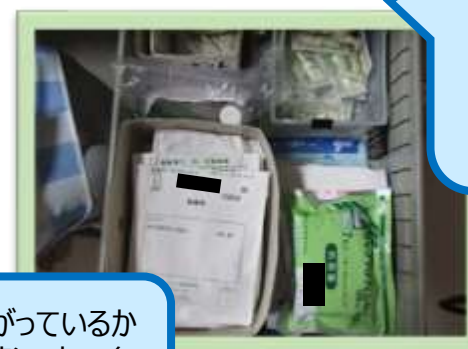
一度、全部取り出さ
ないと必要なものを
探し出せない



別館ST保管の頓服薬

不安時も不眠時も
一緒にあるから必要
なものを探すのに時
間がかかる

積みあがっているか
ら利用者の方の名
前が見つかりにくい



【現状把握7-2】 軟膏の保管状況について調査しました。

本館ST保管の軟膏

軟膏を誰が使っ
ているのか一目では
わからない

ごちゃごちゃしている

探しにくい

同じ軟膏がたくさ
んある



別館ST保管の軟膏

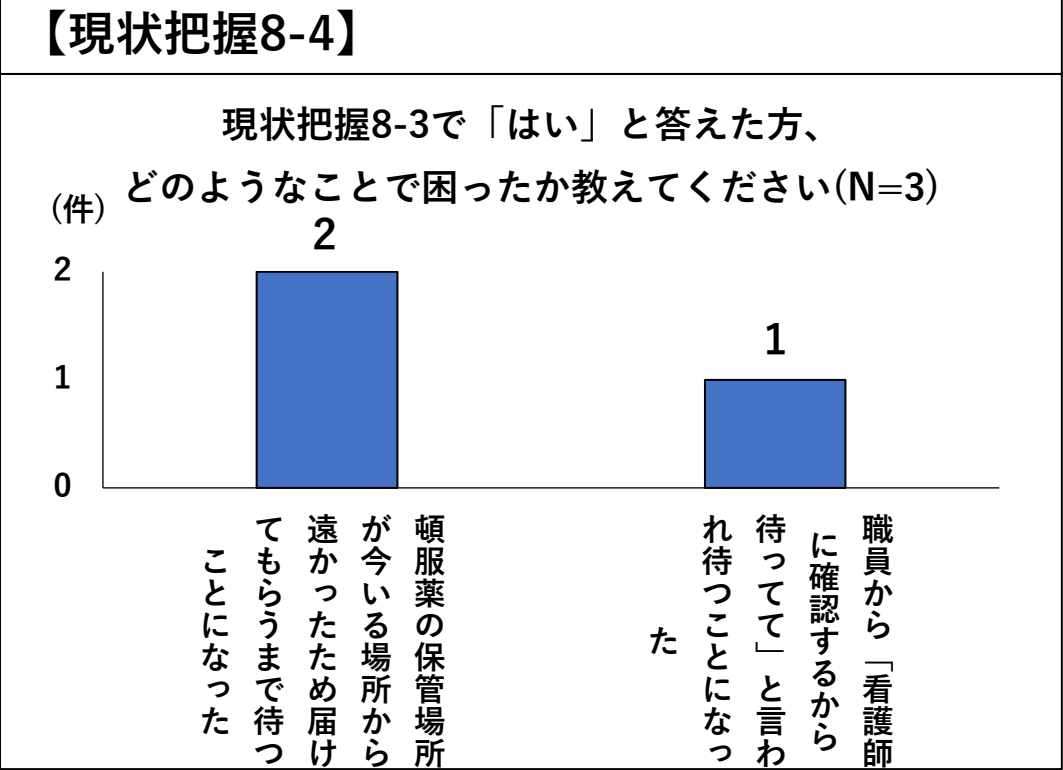
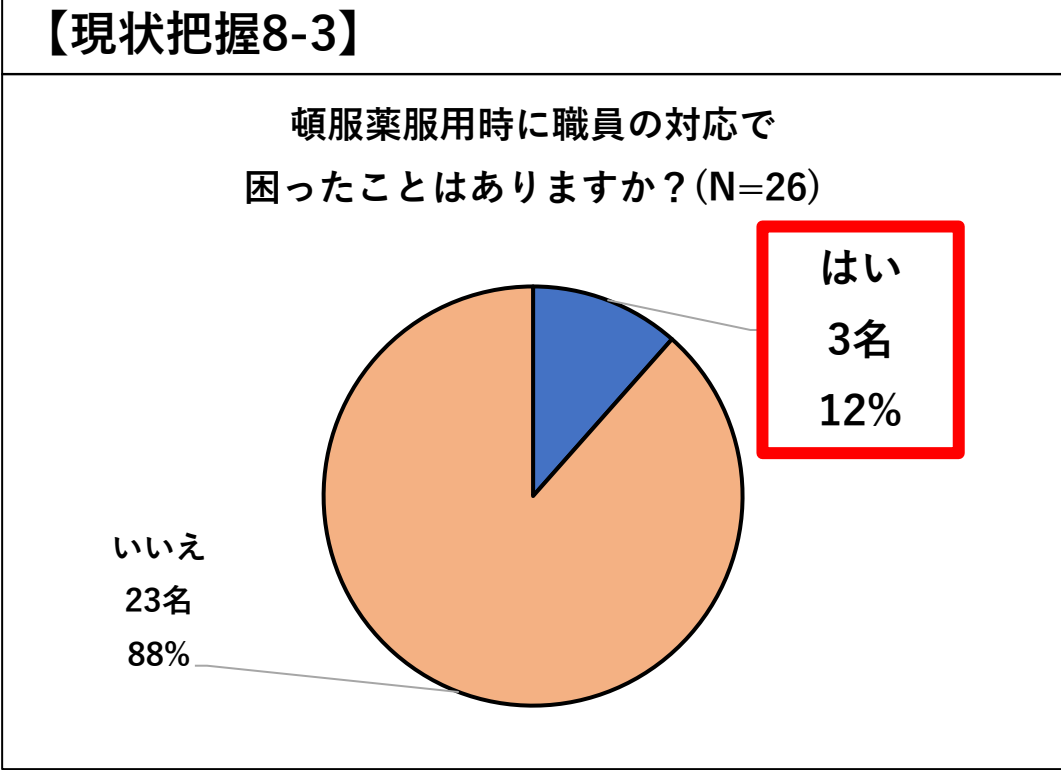
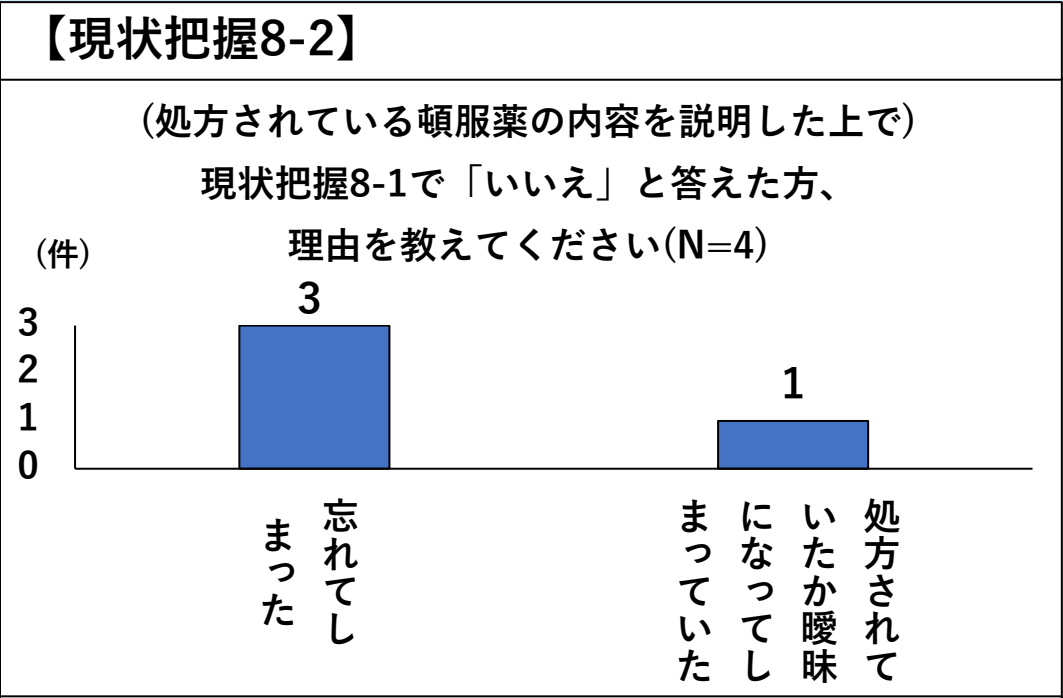
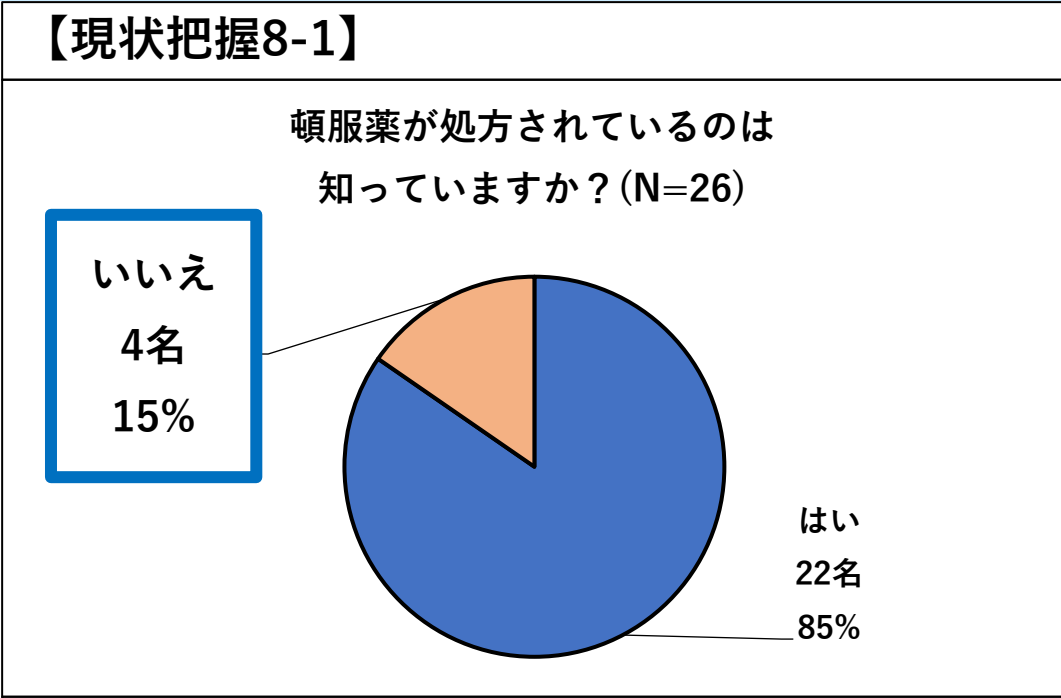
探しやすい

整理されている

ごちゃごちゃ
している

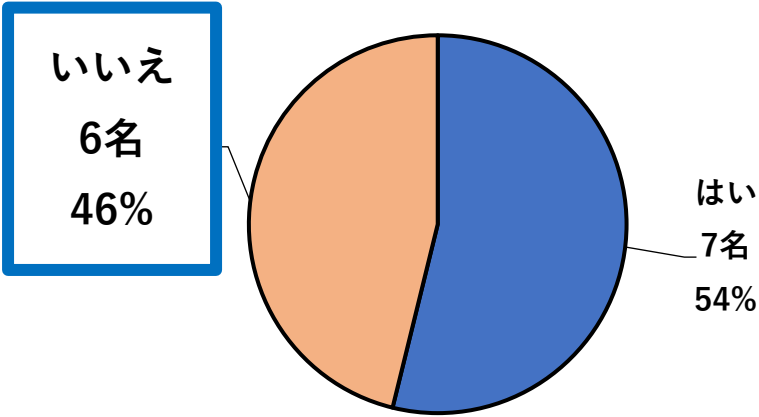
同じ軟膏が
バラバラに
入っている





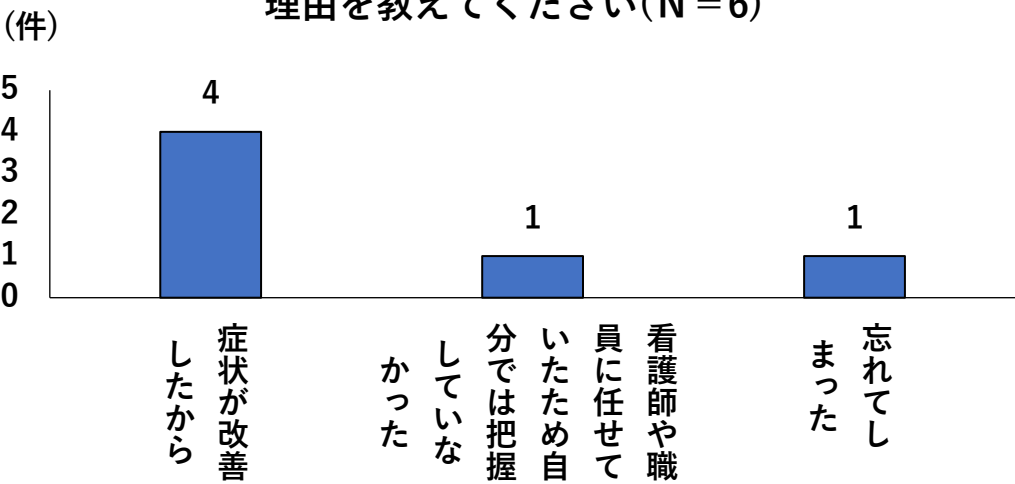
【現状把握9-1】

軟膏が処方されているのは知っていますか？
(N=13)



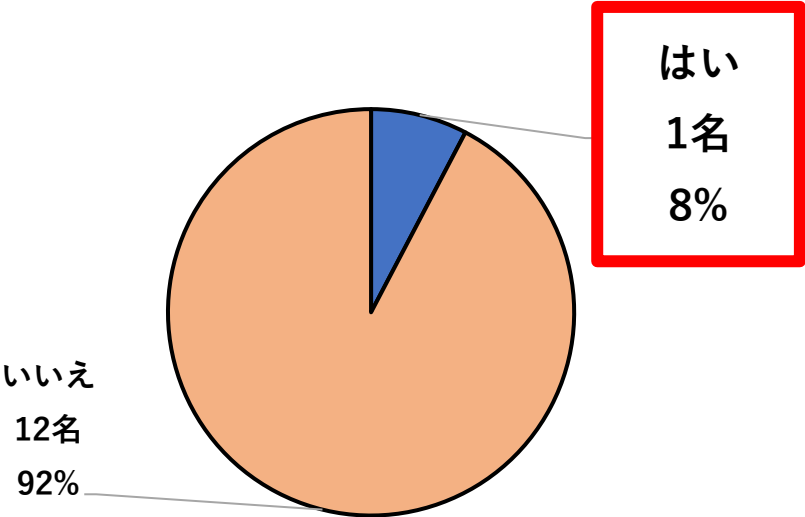
【現状把握9-2】

(処方されている軟膏の内容を説明した上で)
現状把握9-1で「いいえ」と答えた方、
理由を教えてください(N = 6)



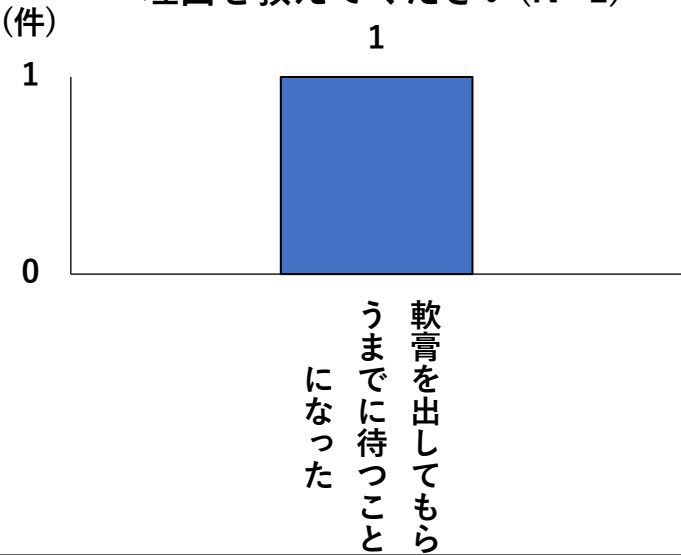
【現状把握9-3】

軟膏使用时、職員の対応で
困ったことはありませんか？(N=13)



【現状把握9-4】

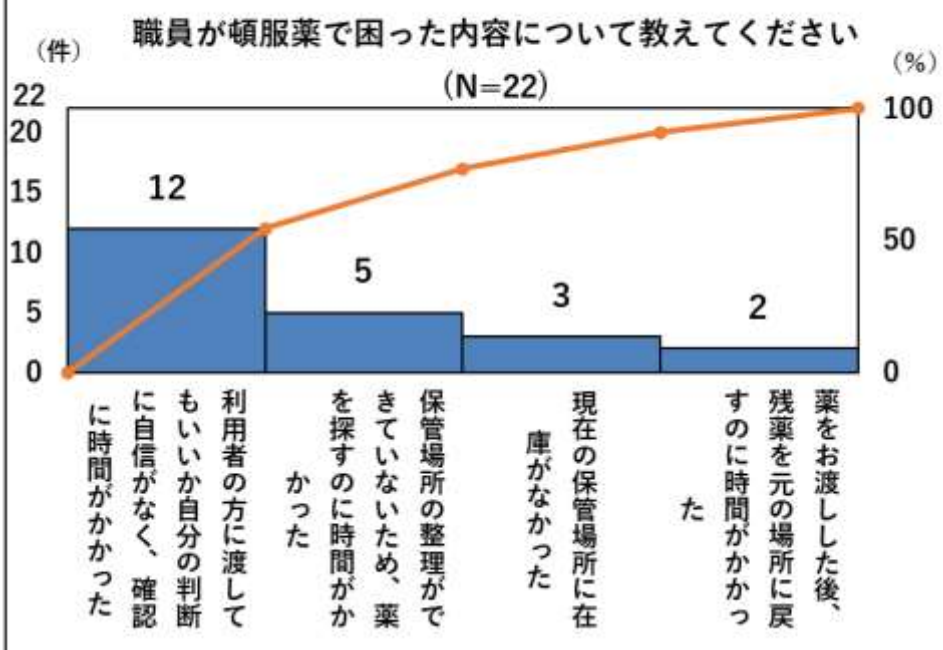
現状把握9-3で「はい」と答えた方、
理由を教えてください(N=1)



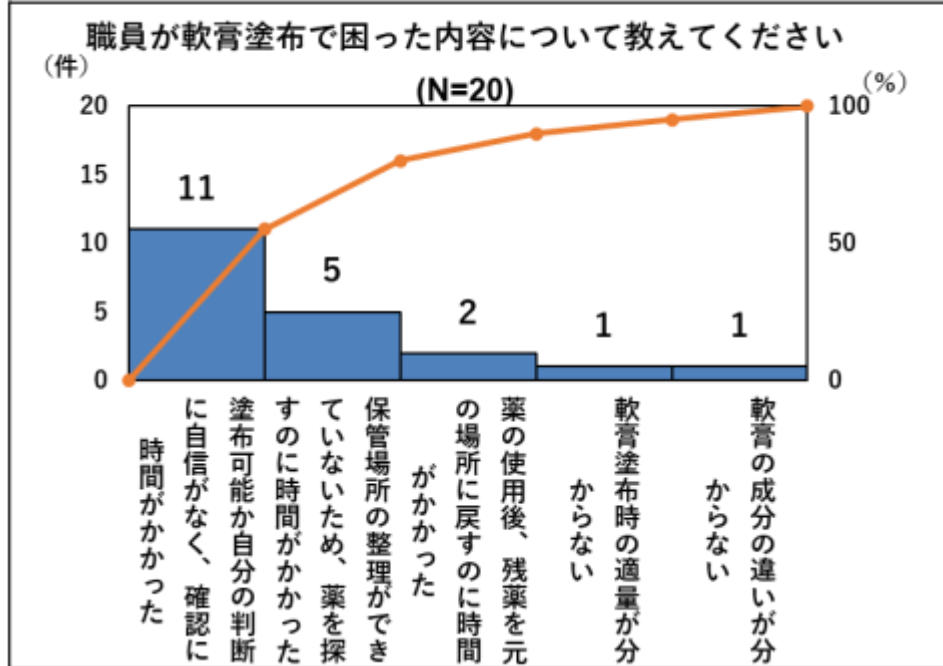
- せいわ園には様々なニーズを抱える利用者の方が入所されていて、利用者の方一人ひとりの症状に合った診療科を受診し薬が処方されている
- 薬に関する業務は利用者の方の健康にかかわるため重要であり、職員は緊張感をもって業務を行なっている
- 職員全員が薬に関する業務で困ったことがあり、その内容は「頓服薬」と「軟膏塗布」についてが多い
- 職員は「自分の判断に自信がなく確認をするのに時間がかかった」ことに困っていた
- 利用者の方への対応は1日平均11.2回、薬の種類も様々である
- 対応が多い時間帯は看護師が不在の「夜間」であることが分かった
- 利用者の方が使用している頓服薬と軟膏の整理ができていなかった
- 利用者の方の中には頓服薬や軟膏が処方されているか忘れてしまったり曖昧だったりする方がいた
- 利用者の方が職員の対応で困ったことは「薬を出してもらうまでに待つことになった」ことであった

薬の管理を分かりやすくして
職員の「困った」を減らし、
安心安全に薬の対応を行なおう！！

【現状把握4-3】



【現状把握4-4】



【現状把握4-3、4-4】より

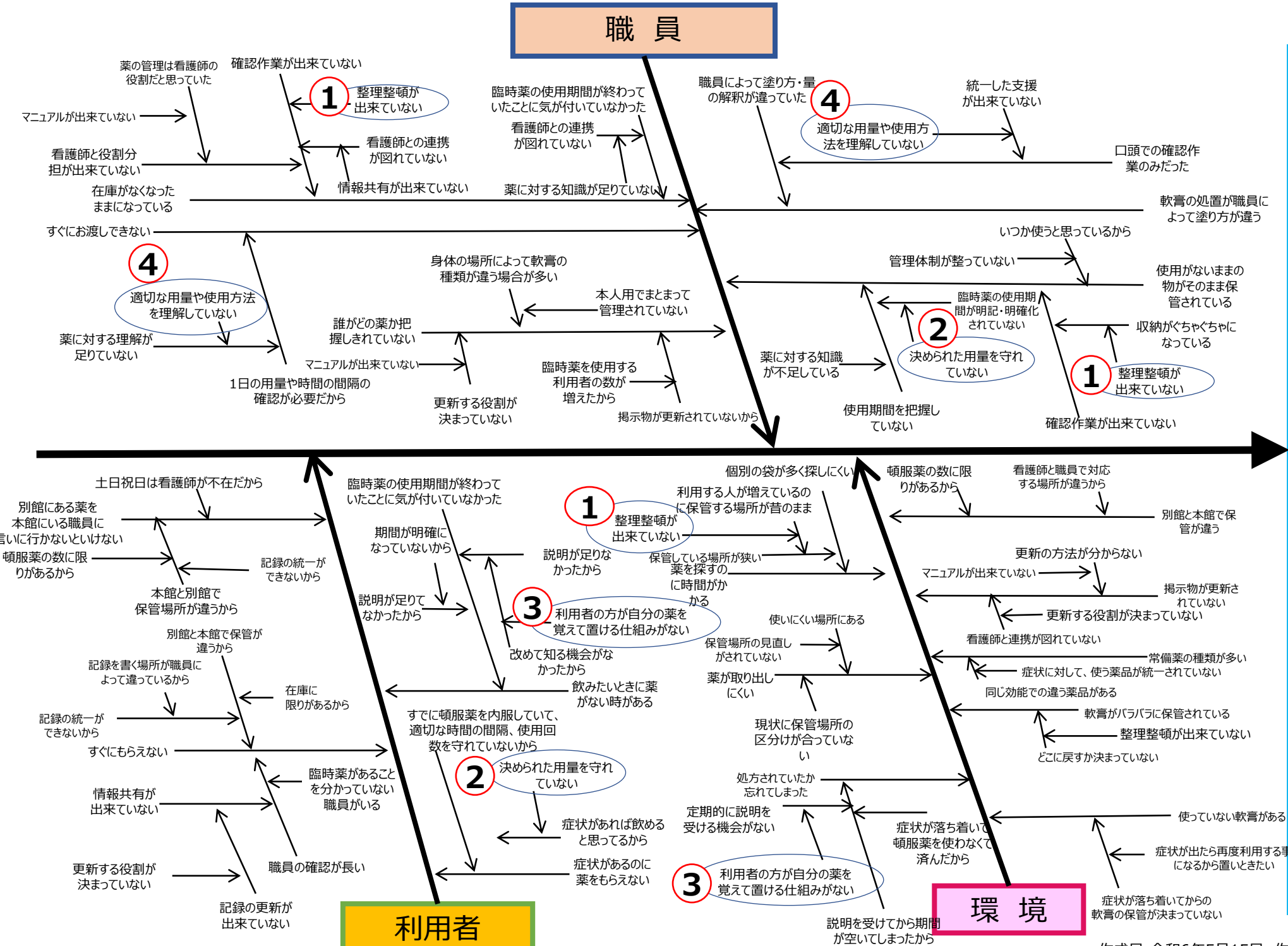
頓服薬で困った理由22件を

軟膏塗布で困った理由20件を

7月10日までに

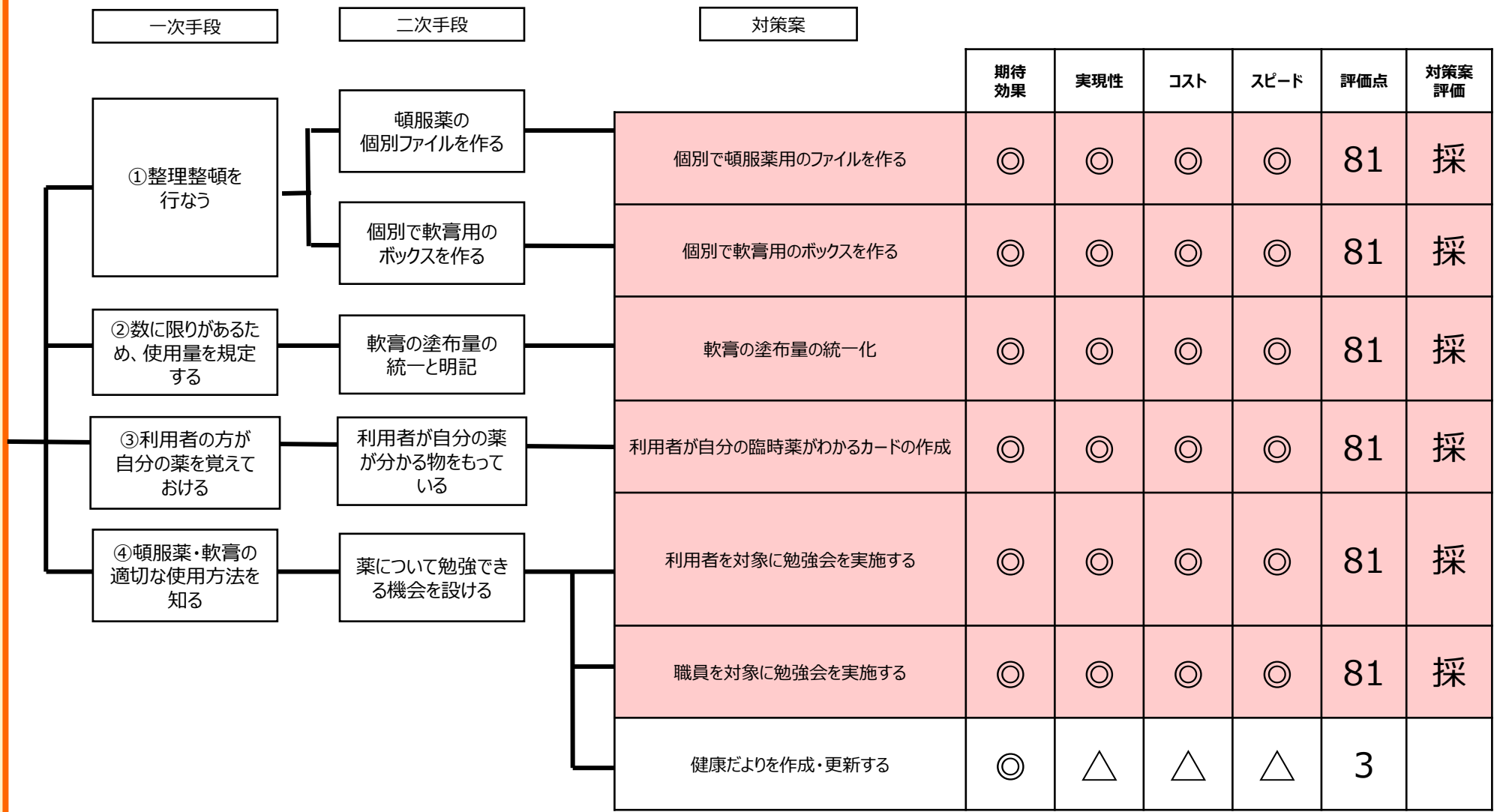
80%減の4件にする！

根拠は…
どちらも上位3項目の要因をなくすことで職員の困りごとが減り安心安全に薬の対応を行うことができ、利用者の方の安心安全な生活につながると思ったからです



頓服薬・軟膏塗布対応で困りごとが多い

頓服薬・軟膏塗布対応での困りごとをなくすには



△ = 1点、○ = 2点、◎ = 3点

～対策実施前の悩みになやんだ検討会議～

対策案 1

頓服薬一覧ファイルを作成するには…



どんなタイプのファイルがいいかな？

閲覧するのに分かりやすくて
ファイルの中身も抜き差ししやすいもの
のいいですね！



今ある保管庫に入るサイズで
作成しないといけないね



採用

対策案 2

軟膏ボックスを
整理するには？



ボックスは今のサイズの
ままで大丈夫ですか？

見えやすく探しやすいする
なら、今のものより大き
めのボックスがいいね！



採用

対策案 3

軟膏の適切な塗布量を
再確認するなら！



指示書だけでは感覚が
掴みづらいんだよね…

職員同士でロールプレイ
を実施したら、適切な塗
布量も分かって感覚も掴
みやすいと思います！



採用

対策案 4

利用者の方に分かり
やすいカードを
作りたいけど…



利用者の方が持っていて保管が
しやすくて分かりやすいもの…

表記はお薬袋を参考にすると
親しみやすいかもしれないね！



頓服薬と軟膏両方ある方は
リングでつなげると保管しやすい
ですね♪



採用

対策案 5

利用者の方向けに
講座を実施したい！



利用者の方に理解を深
めていただくには、利用
者の方に合った講座を
実施しないといけない
ね

看護師と講座の内容を一
緒に考えて利用者の方に
伝わるようにしたいです



採用

対策案 6

職員向けの
勉強会では…



薬のリスクマネジメン
トについて新任職員
もベテラン職員も同
じ意識を持てるとい
いですよね

なぜリスクマネジメント
が必要なのか、改めて
勉強会を行なうことで
共通認識を持つこと
につながるね！



採用

対策案 7

健康だよりの作成は？



健康だよりを作っ
て利用者の方に見
て頂けたら理解が
深まるかな…

見ていただくだけ
は中々伝わらないこ
ともありますよね…
勉強会の方が直接
お話しできて効果抜
群だと思います！



不採用

9、対策の立案

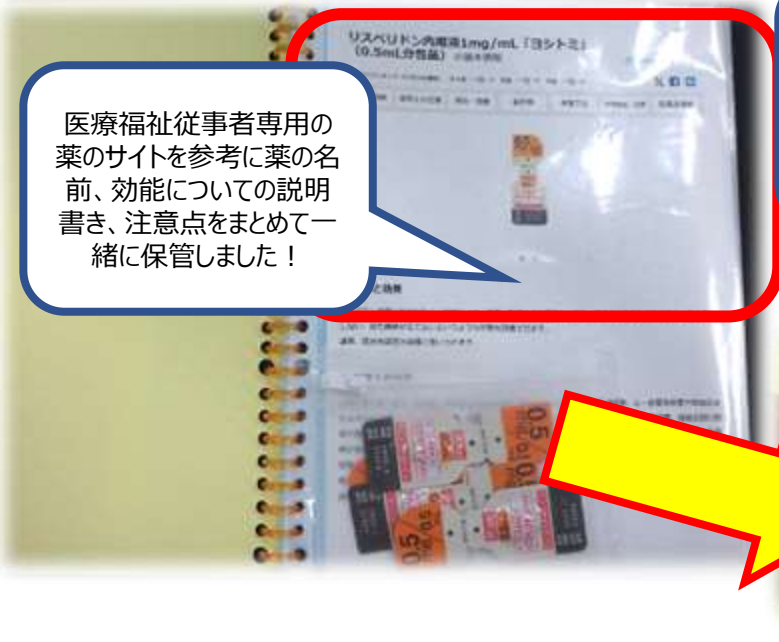
対策案	どうする	担当者	場所	いつ	対象者
①個別で頓服薬用のファイルを作る	頓服薬をファイルにまとめ、“誰が”“どんな症状の時に”“どの薬を”“一日何回まで”が一度でわかるようにする(対策の実施1)	菅野 大越	本館ST 別館ST	5/27	職員
②個別で軟膏用のボックスを作る	軟膏ボックスの整理整頓を行い、軟膏の種類を見分けやすくする(対策の実施2)	国分 看護師	本館ST 別館ST	5/30	職員
③軟膏の塗布量を再確認する	軟膏の適切な塗布量を再確認し 職員に周知する (対策の実施3)	押山 橋本 看護師	医務室	5/28 ～29	職員
④利用者が自分の頓服薬がわかるカードの作成	利用者自身が、自分の服用可能な 頓服薬について理解し、職員も認識できるように する(対策の実施4)	大越 後藤	各居室	5/30	利用者 職員
⑤利用者の方に向けての勉強会	薬についての勉強会を利用者の方へ実施する (対策の実施5)	健康な体づくり 委員会 看護師	食堂	6/1～ 6/5	利用者
⑥職員に向けて薬のリスクについて勉強会	薬についての勉強会を職員へ実施する (対策の実施6)	健康な体づくり 委員会 看護師	カルチャールーム	6/6～ 6/10	職員

頓服薬一覧ファイルを作成！

頓服薬をファイルに整理し【誰が】【どんな症状の時に】【どの薬を】【一日何回まで】が一度で分かるようにしました！

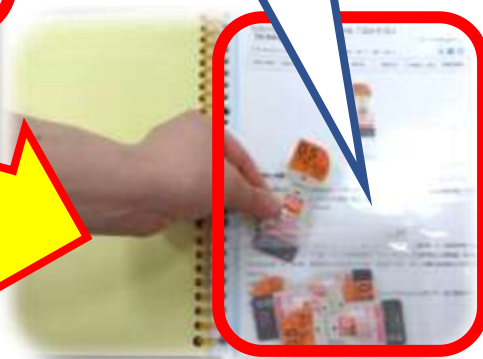
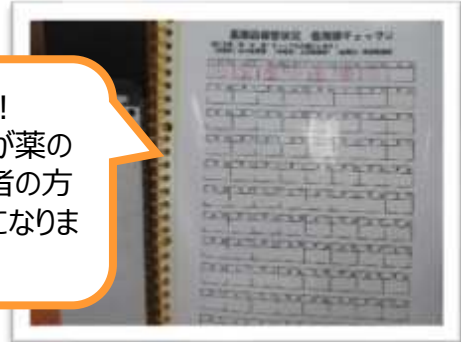


収納するスペースも以前と変わらず、幅をとることなく、利用者の方の希望時にすぐに薬を見つけることができるようになりました！また、処方された薬の説明書を一緒にファイリングすることで、利用者の方への説明もきちんと自信をもって行うことができました！



薬をチャック付きポケットに保存することで、数の把握もしやすく、紛失防止にもつながり、薬の保管や管理がしやすくなりました！

看護師の太鼓判も必要！週に3回(月・水・金)看護師が薬のチェックを実施することで利用者の方に安心安全に薬を渡せるようになりました♪



現在、頓服薬を使用している利用者の方のファイルだけでなく、今後も頓服薬が追加されてもすぐに対応できるように、全利用者の名前やファイル、チャック付きポケットを準備し、急遽追加になった場合にも対応できるようにしました！

軟膏ボックスのダイエットを実施！

毎月第3木曜日を“軟膏ボックスダイエット日”とし看護師と一緒に整理整頓を行う日と決め、軟膏ボックスの整理整頓を行いました！



この軟膏は使い切りで終了ですか？

医師の指示を聞いて、症状が良くなったのであればもう中止しましょう！
軟膏に日付を書いて、開封から半年過ぎていれば処分します！



軟膏ボックスのダイエット日！



開封日 R 6

半年後の月

5. 2 8

11

左

右

軟膏への日付記入を統一化し、左側に開封日を記入し、右側には赤字で開封日から半年後の月数の数字を記入し、軟膏ボックスダイエット日に分かりやすくしました！

陰部洗浄後・就寝前の軟膏塗布

令和6年5月15日現在

利用者名	全身(顔以外)	ゼファート軟膏
	顔部	ゲンタシン軟膏
	首筋	リンデロンV軟膏
	背筋・首	ヘパリン類似物質保湿クリーム
	肘裏部	ベタメタリン古草酸エステルプロピオン酸エステル軟膏
	肘裏部	ベタメタリン古草酸エステルプロピオン酸エステル軟膏
	両腕・肘部・両手	トピベイトスプレー軟膏
	両足・足趾・かかと・臀部	ベタメタリン古草酸エステル軟膏
	股間部	ルリコン軟膏
	両下腿	シワフレドナート亜硝酸化重合軟膏
	肛門の出来物	アグアチムクリーム



【いつ】【誰に】【どの部位に】【どの軟膏を】がすぐ見て分かる様になりました！軟膏ボックスを収納しているキャビネットの扉に掲示することで、軟膏の名前の確認も一緒に行なえます！



軟膏ボックスのダイエットでスッキリ収納出来ました！

また、軟膏の見直しに併せて一覧表を更新する事で最新の情報で正しく軟膏を塗布できるようになりました！

軟膏の効果的な塗り方を再確認した！

看護師に軟膏の塗り方について再確認し、職員間でロールプレイを行ないました！

～「軟膏を塗布する時の目安量」について～

適切な軟膏の量の目安は【1FTU】という単位が使用されます。

1FTUは**大人の人差し指の先端から第一関節**まで軟膏を出した時の量で、だいたい**0.5g**とされています。

※大人の手のひら約2枚分の面積に塗るのに適した分量の目安になります。

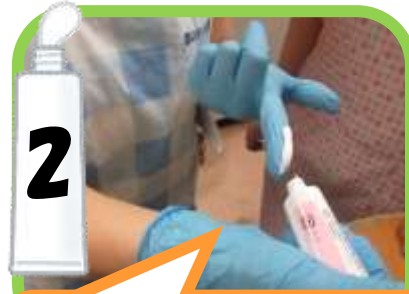


【ロールプレイの様子】

参考：第一三共ヘルスケアのひふ・肌に関する情報サイト



軟膏塗布時は必ず
ゴム手袋を着用！
感染予防のため必須です



1FTUの量を
皆さん覚えましょう★



ぬりぬり

ぬりぬり



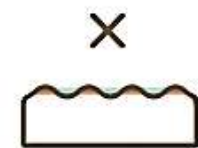
しっかりたつぷりと
塗れていますね！

軟膏塗布の適切な量を
再確認したことで、
自分の実施方法に
自信を持つことが
できました！

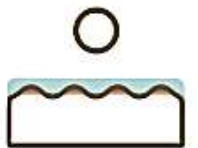


ロールプレイを行いながら
適切な量を塗れているか
お互いに確認しあうことが
できましたね♪

たつぷりと乗せるように塗る



擦り込むように塗ったり
薄く伸ばすと、患部に
十分な薬がつかない



1FTUを目安に
たつぷり乗せるように
塗ることが大切

利用者の方に「私のお薬カード」を作成！

頓服薬と軟膏でそれぞれ2種類のカードを作成し、本人用に処方された薬がすぐにわかるようになり、必要な際に提示してもらうことで職員もすぐに分かる様になり対応がスムーズになりました！ラミネートをすることで何度でも繰り返し使用できます！

さん

頓服薬

症状： 時

薬品名：

回数：

MEMO



さん

軟膏

薬品名：

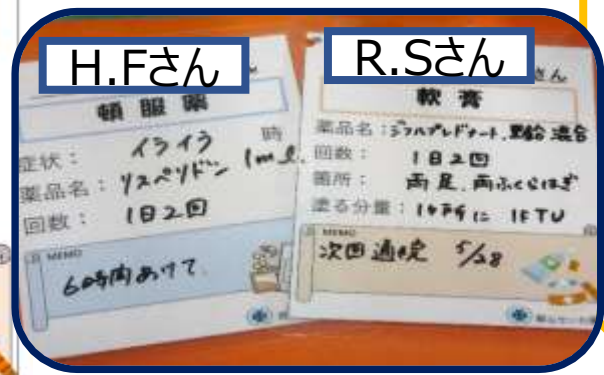
回数：

箇所：

塗る分量：

MEMO





頓服薬は“どういう症状の時”“1日何回”を明記することで、利用者の方から『頭が痛いからって何回も飲んで良いわけじゃないんだ』と理解して頂くことが出来ました！

軟膏は、塗る分量を1FTUの表記にすることで、職員間で統一化することが出来ましたね！



カードは紛失防止のため、左上に穴を開け、利用者の皆さんの居室にS字フックを活用して保管してもらいました！実際に利用者の方から『このカードがあると分かり易くて助かります！』とうれしい言葉をいただきました！



しかし！！

カードを持ってくるの忘れちゃったわ



カードはどこにしまったかな

保管が難しい利用者の方のカードは、頓服薬一覧ファイルの近くに保管することにしました♪



頓服薬と軟膏を使用している利用者の方を対象に「せいわクスリを学ぶ講座」を実施！

実施方法

看護師を中心に利用者の方に処方された頓服薬について皆さんに勉強会を開催しました！
(実施期間中はQCメンバー1名も同席)
※頓服薬と軟膏どちらも使用している利用者の方が4名いるため、合計35名に実施。



正しい情報・知識

医師から処方された薬について
処方箋と共にお伝えします。



正しく伝わる・理解する

利用者の方が理解できる様に
分りやすく言いかえてお伝えします。



正しく記入・見返す

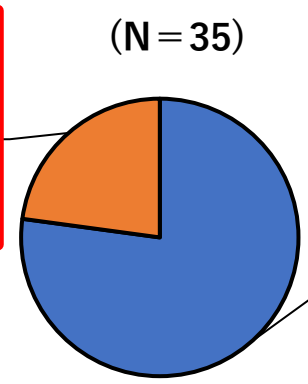
「私のお薬カード」に
ポイントをまとめて記入しいつでも見返してもらいます。



講座終了後にアンケートを実施！

講座の感想を教えてください

よく分からな
かった
8名
23%



とても分かり
やすかった
27名
77%

「よく分からなかった」と答えた8名に
再度講座を実施しました！

●6月3日：4名
●6月4日：4名
少人数で行ない一人ひとりの質疑
応答にも細かく答えることができ、
利用者の方にさらに理解を
深めていただくことができました♪

- 実施場所：医務室
実施日時・参加人数（計35名）
- ①5月21日 9時30分～10時30分 7名
 - ②5月22日 10時30分～11時30分 7名
 - ③5月27日 13時30分～14時30分 7名
 - ④5月28日 13時45分～14時45分 7名
 - ⑤5月31日 13時30分～14時30分 7名

職員に向けて「クスリのリスク講習会」を実施！

実施方法

看護師が講師となり薬のリスクマネジメントについて研修会を実施！



大変勉強になりました！
薬の基本的な勉強はしていても詳しいリスクを知る事でより一層、薬の使い方に気を付けようと意識づけができました！



実施場所：カルチャールーム

実施日時・参加人数（計19名）

- ①6月5日 14時30分～15時30分 4名
- ②6月6日 13時30分～14時30分 4名
- ③6月7日 13時45分～14時45分 4名
- ④6月10日 14時45分～15時45分 4名
- ⑤6月11日 13時30分～14時30分 3名



正しく使えば **【クスリ(薬)】**
間違った使い方をすれば **【リスク】** 🦴



1 「薬を使う」というのは「副作用のリスクを背負う」ということ。



2 薬は使い方を間違えれば身体に悪影響を及ぼす**【リスク】**になる。



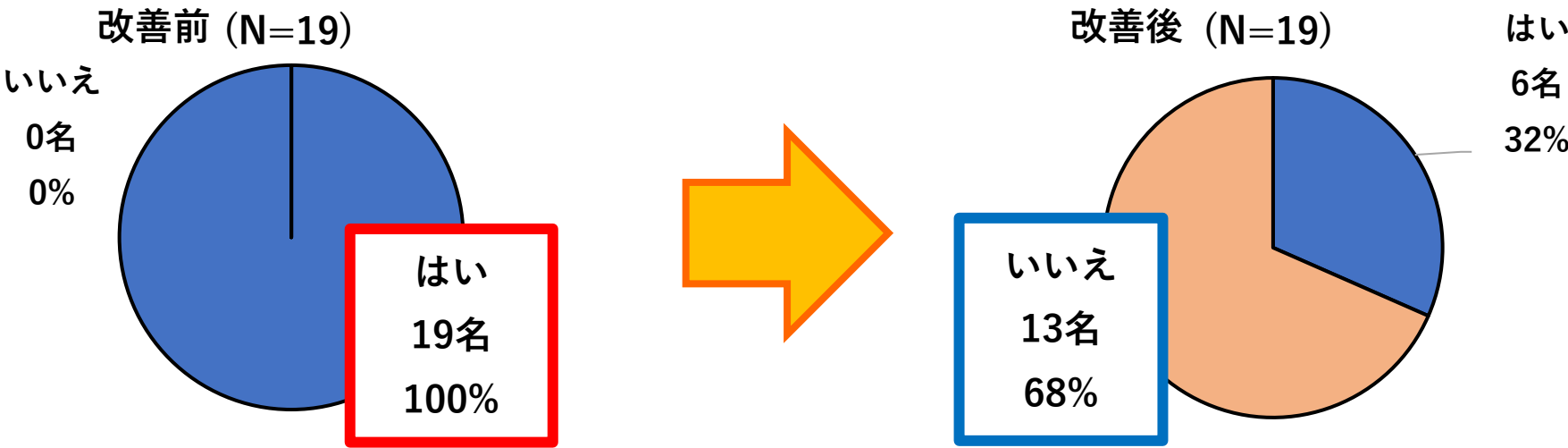
3 薬には使用期限があり、正しい保管を行なっても、期限が過ぎれば有効成分が分解していたり、副作用を起こしやすい物質に変化していることがある。



4 薬の使用中に異変が起きた時には、『何という名前の薬を、どのくらいの量・期間使用し、どのような症状が出たのか』説明できるようにすることが大切。

【効果の確認1-1】

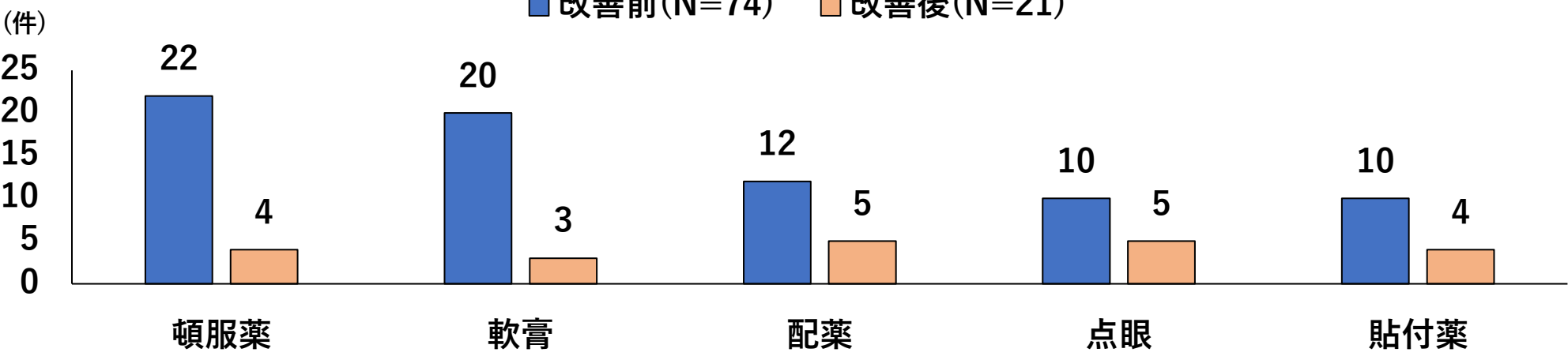
薬に関する業務で困ったことはありますか？



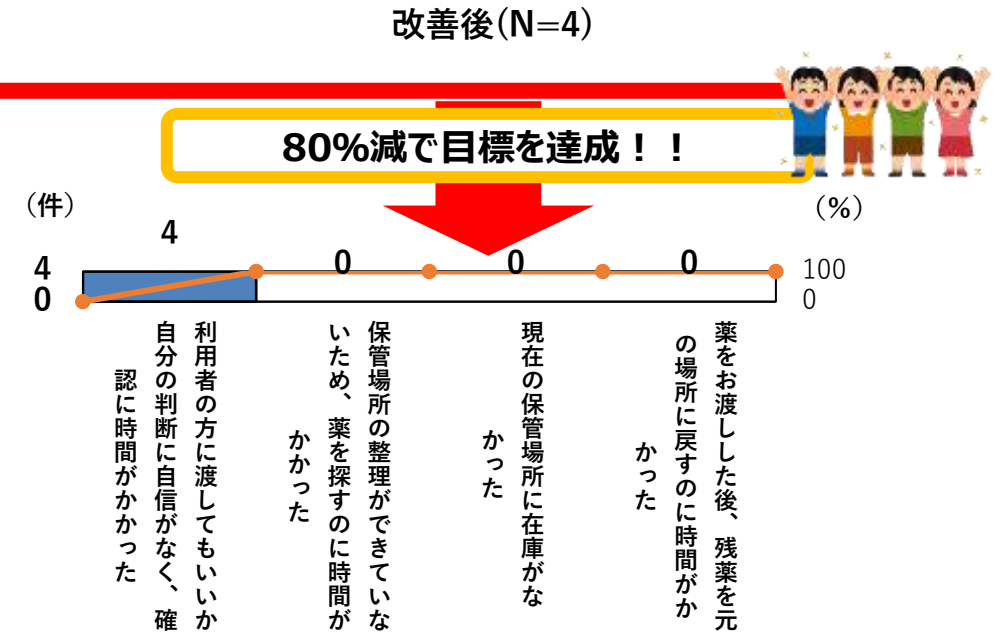
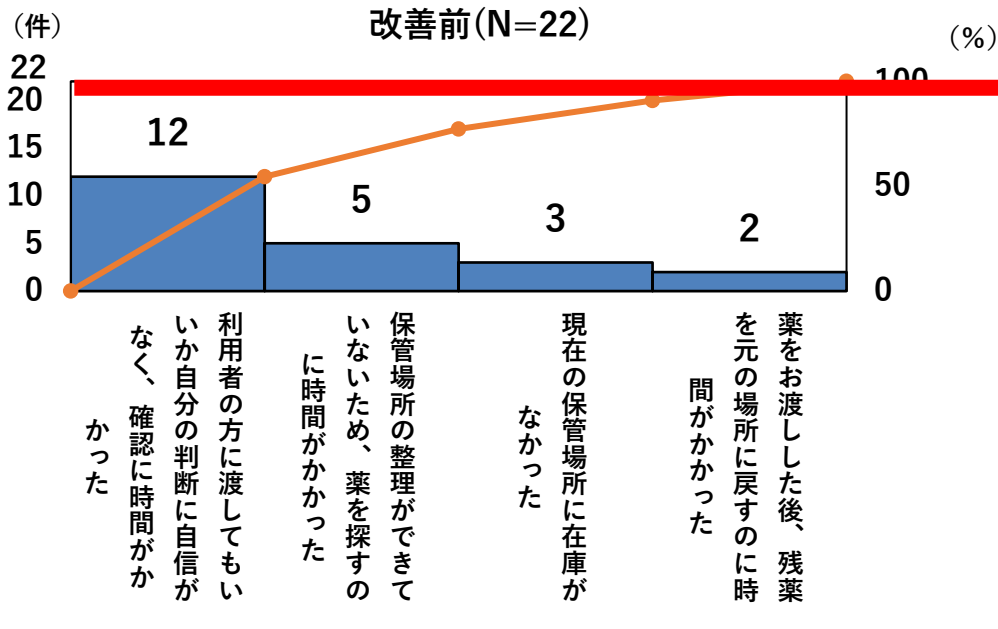
【効果の確認1-2】

どのくらい困ったことがありましたか？ 複数回答

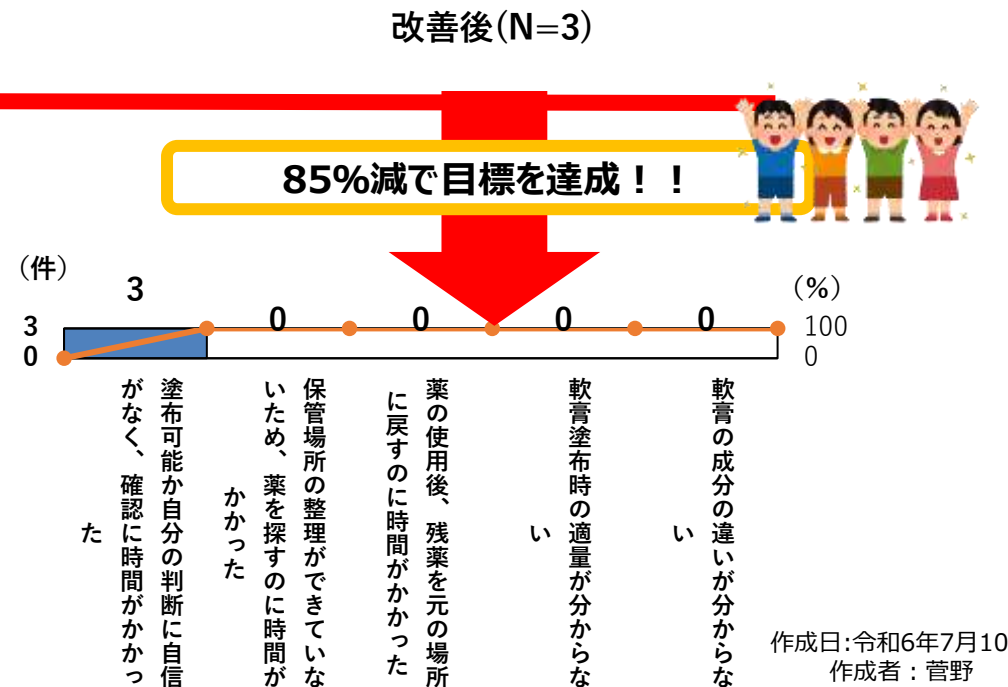
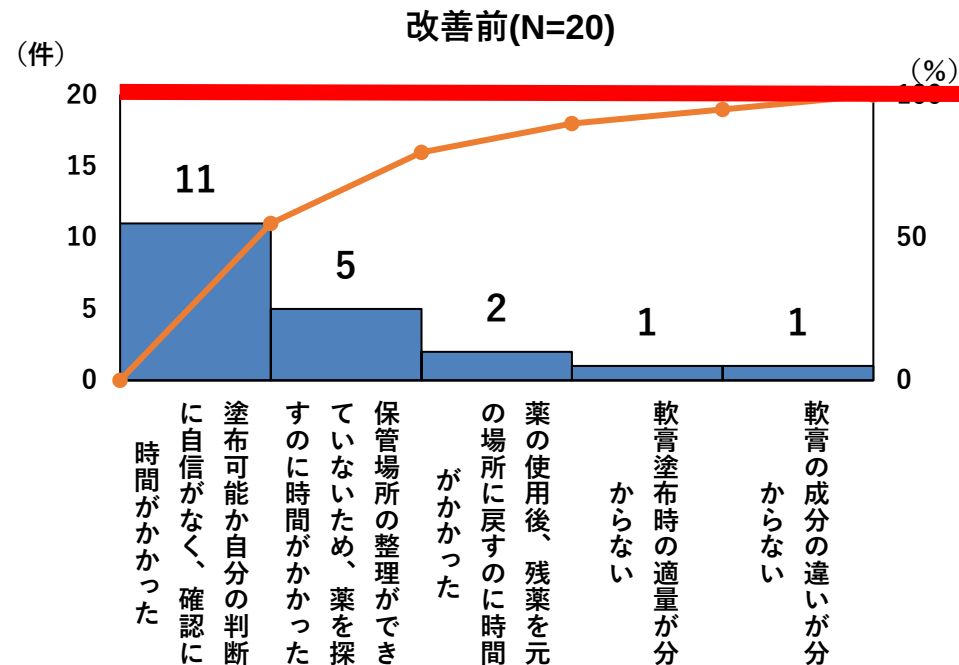
■ 改善前(N=74) ■ 改善後(N=21)



【効果の確認1-3】 頓服薬で困った内容について教えてください



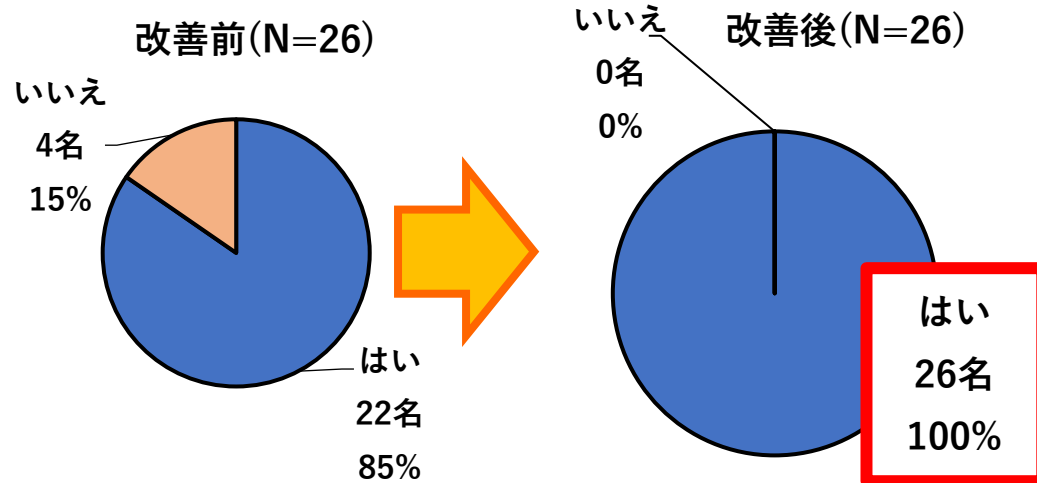
【効果の確認1-4】 軟膏塗布で困った内容について教えてください



効果の確認2 頓服薬を使用している利用者の方のアンケート調査を比較

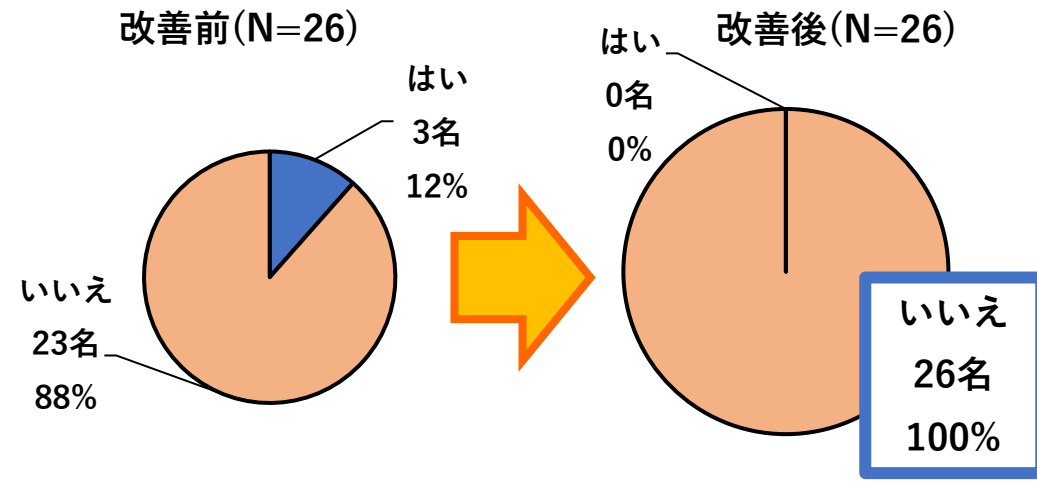
【効果の確認2-1】

頓服薬が処方されているのは知っていますか？



【効果の確認2-2】

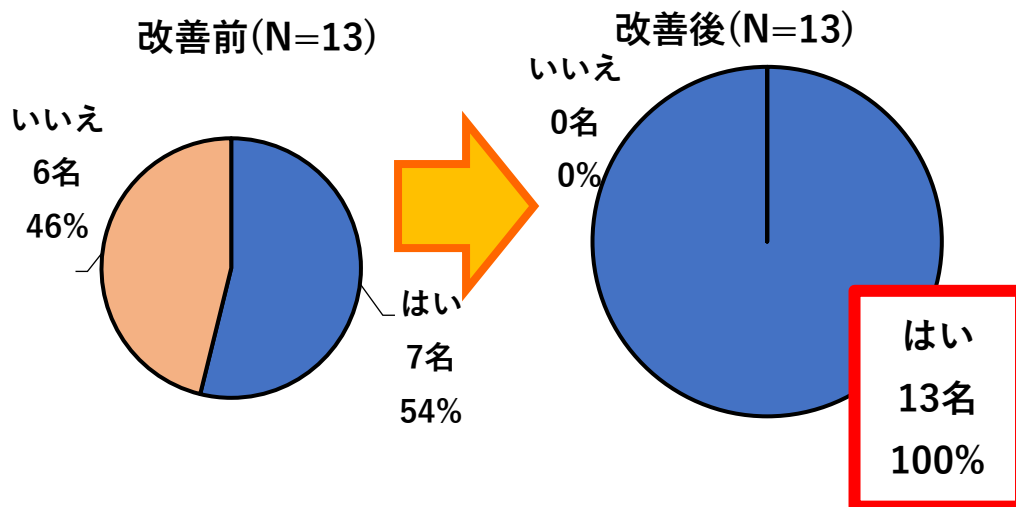
頓服薬服用時、職員の対応で困ったことはありますか？



効果の確認3 軟膏を使用している利用者の方のアンケート調査を比較

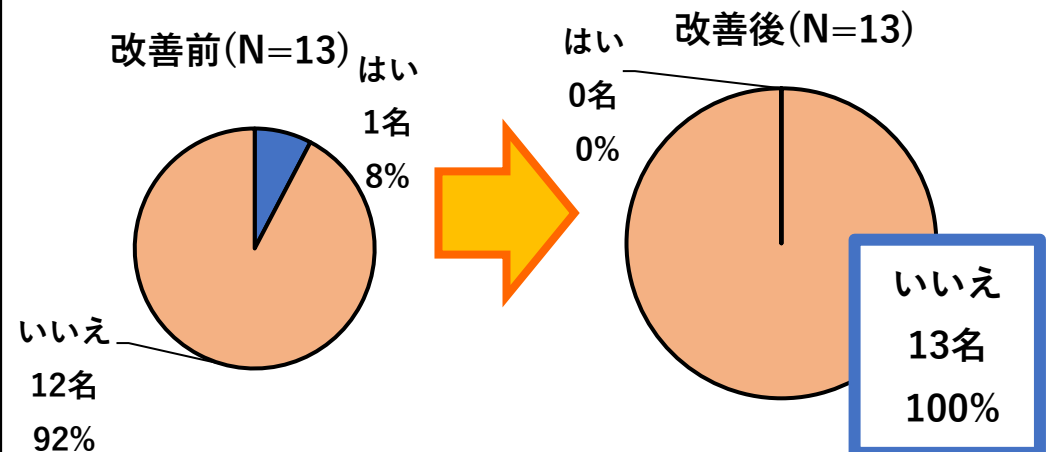
【効果の確認3-1】

軟膏が処方されているのは知っていますか？



【効果の確認3-2】

軟膏使用時、職員の対応で困ったことはありますか？



12、波及効果

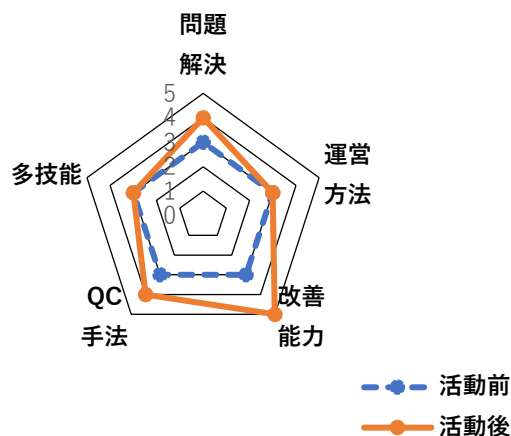
- 頓服薬と軟膏について職員の困りごとが減るとともに、定時薬や湿布などに関しても困りごとを減らすことができた
- 医薬品の整理を行なうことで、他の場所の整理を行なうことにもつながった
- 利用者の方が薬について知ること、定時薬を拒否することも減少した
- 看護師と職員の連携を強化したことで、さらに風通しの良い職場づくりに貢献することができた



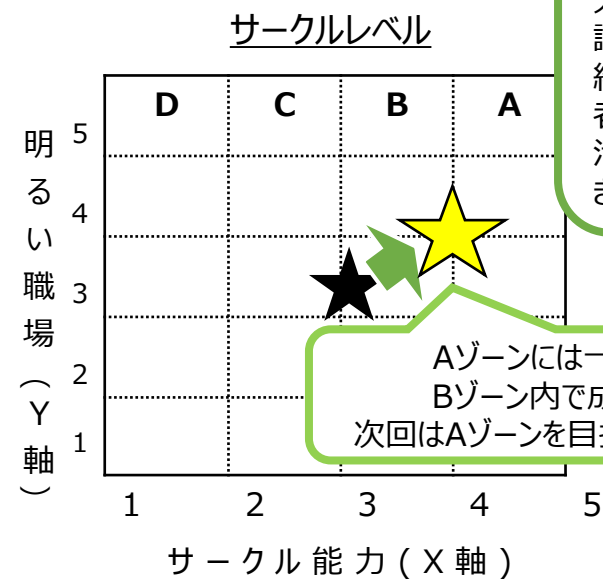
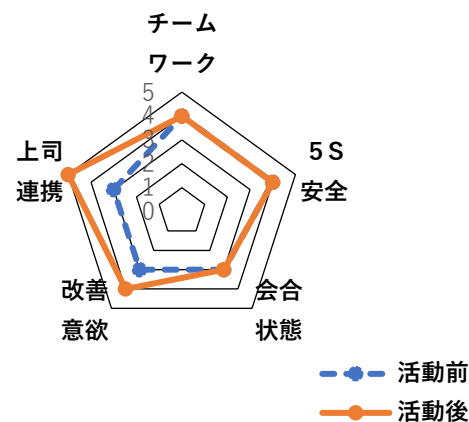
～利用者の方から～
薬と身体の健康について知ることができました♪
これからも薬と上手に付き合っていくことが
大事ですね★

13、サークル診断比較

サークル能力(X軸)
平均値(3.0)→平均値(3.8)



明るい職場(Y軸)
平均値(3.4)→平均値(4.0)



サークルメンバーも一人ひとりが当事者意識を持ち活動に取り組む事ができ、利用者の方に還元できる活動を進めることができました★



Aゾーンには一歩及ばず
Bゾーン内で成長しました！
次回はAゾーンを目指して頑張るぞ！！

実施した対策	いつ	場所	担当者	どのように	どうする
①個別で頓服薬の ファイルを作る	毎週金曜日	医務室	ほっとサロン担当職員 看護師が	嘱託医と看護師と 連携を図りながら	ファイルの整理整頓を行う
②軟膏用ボックスの 整理 (軟膏ボックスダイエット)	毎月 第3木曜日	医務室	元気で健康な体づくり 委員会と看護師が	使用状況や開封日等を 確認し	軟膏ボックスの整理をする
③軟膏の塗布量の 再確認	随時 (軟膏処方され た際)	各ステーション	看護師が	職員を対象に	軟膏の塗布量の確認を行う
④利用者が自分の臨時 薬がわかるカードの作成	通院時	医務室 各ステーション	看護師 対応した職員が	医師、看護師と 連携を図りながら	カードの作成を行う
⑤利用者に向けての 勉強会	3か月に1回 (季節ごと)	医務室	スキルアップ委員会と 元気で健康な体づくり 委員会が	看護師と 連携を図りながら	利用者の方に 「せいわクスリを学ぼう講座」 を行う
⑥職員に向けて薬のリス クについて勉強会	3か月に1回 (季節ごと)	カルチャールーム	スキルアップ委員会と 安全管理対策委員会 が	看護師と連携を 図りながら	職員に向けた 「クスリのリスク講習会」 を行う

	良かった点	苦労した点
テーマ選定	軟膏や頓服薬を利用されている方が多い中で 原点である内容に着目することができた	デリケートな内容であり 活動を円滑に進められるか心配があった
現状把握	改めて薬に関する業務の整理を行ったことで 職員と利用者の方が困っていることを知ることができた	職員が看護師頼りになっていることが多く、 状況を整理するのに時間を要した
要因解析	「頓服薬・軟膏塗布対応で困りごとが多い」について特性要因図を 活用して要因をしっかりと突き詰めることができた	要因を突き詰める際に自責で考えることに苦労した
対策の 立案・実施	軟膏の塗布量の再確認を行ない、職員間で適切な塗布量の 共有を図ることができた	利用者の方に、ご自分の服用している頓服薬について どうすれば理解していただけるのか考えることに苦労した
効果の確認	利用者の方に薬についての勉強会を行なったことで 理解を深めていただくことができた	薬について理解を深めて頂くために 利用者の方一人ひとりに合った説明をすることが難しかった
歯止め	「私のお薬カード」を利用したことで、職員も 利用者の方にすぐに薬をお渡しすることができた	今後も継続して実施していくにはどのようにすればよいか 具体的な内容を考えることが難しかった

16、今後の課題

- 頓服薬や軟膏の処方の変更が多いため、引き続き看護師と職員の連携を図っていく。
- 1FTUの対応を継続し、職員の対応を統一していく。
- 今後も「せいわクスリを学ぼう講座」を実施していき、利用者の方に薬についての理解を深めて頂く機会を
設けていく。
- 定期的に「クスリのリスク講習会」を実施し、職員のリスクに対する意識の向上に繋がる機会を設けていく。
- これからも利用者の方により良い生活を送って頂けるように、職員と利用者の方の信頼関係を築いていく。